

第2回三役・地区長会の概要

日 時：令和4年9月21日（水）午後3時～

場 所：私学会館5階大会議室

出席者：別紙

1 開会

2 理事長挨拶

- ・会員園である川崎幼稚園のバス園児死亡事案について。大変痛ましく、同業者として二度と起こしてはいけない。犠牲園児に哀悼の意を表するとともに、地区においては改めて各園に対し安全確認、点検等お願いしたい。

3 意見交換など

（1）送迎バス園児死亡事案を受けての取組

- ・資料に基づき事務局より説明（アンケート（集計途中）を含む）
- ・9/14開催の臨時理事会（Zoom）及び当日のNHKの取材で、協会として1年程度かけ危機管理マニュアルを作成したい旨話した。
（各地区長）抜粋
- ・杜撰な園が起こした事案で全園がそうであると取られるのは避けたい。
- ・「後方座席確認済」という札を作り、掃除をした後最後にぶらさげることにした。誰が見ても確認したことがわかる簡単な仕組みが必要。沼津市内で共有している。
- ・保護者に安心していただくため、4月当初に保護者に提供した冊子に送迎バス関連の項目も追加して事案翌日に提供、職員間でも共有した。
- ・添乗者と運転手が掃除・確認し園長又は副園長に伝達していたが、印は押していなかった。事案を受け、園長又は副園長が搭乗した園児の名簿に時間と確認者の押印をし、責任を目で確認できるようにした。
- ・挨拶及び乗降の際には園児の名前を呼ぶように指導した。
- ・徒歩通園も含め、報告・確認でやっていることを印刷し保護者に配布・説明した。また、名簿で乗ったら○、下りたらレ点の二重チェックを始めた。バスの入庫の際、運転手は清掃・消毒作業を行い、コロナ以降は窓を開けたままにしている。
- ・朝会で欠席を確認した園児についても電話して大丈夫か聞いている。
- ・教職員に対して口うるさく指示・指導するのが園長の役目。
- ・バスは使っていないが、出欠席確認の方法を保護者に配布・伝達した。
- ・協会で教職員のフォローをしてもらいたい。
- ・教育は大事だが、その行事などのために教員が急がされ事案につながったのであれば見直さなければならない。
- ・マスコミが大変興味を持っている。矢面に立つ園長がしっかり説明できることが重要。出欠状況、運営マニュアルなど。
- ・集計中の浜私幼アンケート結果について数項目の説明。マニュアルがないと不都合と思われるため、浜私幼では不備の園には作成、ある園でも再作成・確認等を依頼。
- ・園長が恒常的に運転していると園の運営に支障が出るため、バス運営費（運転手の

確保)に何らかの補助が必要。協会としても考える必要がある。

- ・自分が会見の場にいたことを想定することも園や子ども、教職員を守る意味で必要。
- ・出た意見ですぐ取り掛かれそうなものを参考として加盟園に紹介する。

(2) 県私幼のあり方検討プロジェクト

(吉田富士宮地区長・プロジェクト委員長)

- ・資料 P6。各地区長に配布済。
- ・あり方 P では、今回の地区長アンケートの意見も参考にしながら、年内を目途にある程度の形にし、地区長にもご意見を伺いたい。

(3) 地区の取組状況など

(各地区長) 抜粋

ア あり方検討 P 関係

(7) 地区割

- ・地区の再編が急務。時代の要請。現在は地区の規模の格差がありすぎる。
- ・6地区統合案が出ているが、合併して動きやすいかどうか検討していただきたい。スリム化して良いと思う。
- ・合併する地区は何らかの軋轢があるが時間が解決する。
- ・地区としての活動が低調で、合併相手の地区と一緒に盛り上げていけるか心配。音頭を取る先生がいない。現状が良いとは思わず、進められれば良いと思う。
- ・以前は一緒にやっていたが市単位で抜けた経緯あり。県私幼が大きくなりすぎた。スリム化していくことは大事。特定の事業に特化するような考え方があっても良い。
- ・研修等は一緒にできる。対市との関係は難しいが、十分一緒にやっていける。
- ・地区活性化につながると、統合を楽しみにしている。
- ・小さい地区だからまとまってできるものもあるので、それも考えながら検討してほしい。
- ・研修に積極的な市とそうでない市がある。一つの地区としてイベントは一緒にやるが、他は動きやすいようにするなどのことも考えたい。
- ・現在単独の市なので、市町との交渉は今までどおり、県の事業については合併で担うというイメージを持っている。今年は隣の市と一緒に研修をしたり、次回は東部全体でオンライン研修をしたり試している。
- ・地区が一緒になるのはなかなか大変だが、同じく幼児教育を担う者として話し合っ
て一緒に活動していくよう、前向きにとらえていただければありがたい。

(4) 地区長と役員

- ・地区長＝理事に賛成。意思決定プロセスがわかりやすくなる。一般会員も地区長に話せば繋がるとイメージできる。

(7) 常置委員会・県私幼が担うべき業務

- ・事業の中身を検証して改革を進めるべき。資産運用収入を会費収入の何%かに定めるなど収支状況の健全化を図る必要がある。そのため事業のスリム化、合理化が大切。
- ・委員会はガラガラポンして本当に必要なものを洗い出しそこに重点を置くべき。
- ・研修は、大筋を県私幼で決めあとは地区にらせていただくのが良い。浜松には浜私幼、教委、市など様々な研修機会がある。

- ・東中西に分けて実施するなどの方法もある。

(E) 公益社団化の可能性の検討など

- ・公益社団化、財団との統合については、相手もあり時間はかかるが、このままでは年数百万が税金として消えていくことなので考えていかなければならない。

(F) その他

- ・今年度中に結論を出し、来年度は準備期間、R6 に新体制でスタートとするべき。
- ・地区内園長にやる気を起こさせる方法を考えたい。
- ・あり方 P 報告書は改革意欲が感じられる。お任せしていきたい。
- ・加えられるなら、協会をアピールするイメージ戦略を考えられれば良い。

イ 地区の取組状況等

(7) 子育てフェア

- ・地区内でどの園も受けてくれず、地区長の園で実施した。
- ・地区内に子どもを集客できる施設で分散して開催する予定。
- ・3年ぶりに実地開催を計画している。自然の中の広い施設だが、部屋の中でできることを持ち込んだりしていたが、やり方を変えることも検討している。
- ・少子化が急激に進み園単体でできることが限られ、全体で見る必要が出てきている中で、子育てフェアは協会園がみんなで見ているというアピールの場にもなっている。参加 18 園と地区協会の幟旗を作っている最中。

(4) 地区の研修

- ・オンラインで実施したが、開催園職員以外での参加者が限られる地区もある。
- ・市主催 1、協会主催 2 の 3 つの研修のコンセプトがたまたま「笑顔」で一致し、連携しているような効果があった。

(4) 私学振興ふじのくに大会

- ・資料に基づき事務局より説明。
- ・地域向上委員会所管だが、鈴木委員長と相談の上今年度はここで扱うこととなった。
- ・コロナのための縮小版前提で動いているが、昨年解散した私学振興議員連盟再結成の動きを見ながら検討する。調整の結果従来版でやらざるを得ない状況が出てくる可能性がある。
- ・資料にある主催団体合同の要望案、当協会個別の要望項目案についてご了承いただきたい。ご意見があればこの場でご指摘、又は後日メール、電話で連絡いただきたい。
- ・役割分担表を地域向上委員に割り振るのでご了承いただきたい。
- ・司会者についてはできればこの場で決めていただきたい。⇒高橋委員(いまいづみ・富士地区)